

第1節 調査に至る経緯及び目的

このことを直接のきっかけとして、佐世保市では長い歴史の中で形成された黒島の景観を「文化的景観」として捉え、文化的景観を構成する景観要素、景観の特徴を把握するための現地調査(保存調査)を実施した。これらの調査によって黒島の景観の成立過程とその価値を明らかにし、景観計画策定、重要文化的景観の選定と、文化的景観保存計画、文化的景観整備活用計画等の策定・実施を通して、黒島の文化的景観を適切に保存・活用することで黒島地区の活性化に資することを目的としている。

第1項 調査対象地区

第1図 調査対象範囲

第2項 調査項目

黒島における景観の把握のために、明らかにすべき項目として以下の4項目を主項目として設定した。

- ・自然的特性
→黒島における自然環境。生業生活が成り立つに至った地理的条件等。
- ・歴史的特性
→人の生活はいつ始まったのか。島の土地がどのように利用されてきたのか。
- ・生業生活の特性
→現在の生業生活が成り立つに至った背景。
- ・住民の景観認知
→黒島の人たちが島の景観をどのように認識しているのか。

これらの専門調査結果をもとに事務局において、黒島の文化的景観の成り立ちとその本質的価値について考察した。

第3項 調査体制

以上の4項目を調査の主な項目と定め、現地での調査を行った。調査に当たっては、「佐世保市文化的景観調査委員会」を設置し、それぞれの専門分野に分かれて調査を行った。

調査の実施に当たり、文化庁記念物課、長崎県教育庁学芸文化課、長崎県知事公室世界遺産登録推進室の指導を受け、佐世保市教育委員会社会教育課が事務局を担当した。

なお、家屋間取り図の作成や各委員による調査成果の図面化、航空写真の撮影等、アンケート結果の取りまとめを八千代エンジニアリング株式会社に委託した。

以下に調査組織を記す。

佐世保市文化的景観調査委員会

役 割	氏 名	役 職 等	分 野
委員長	立平 進	長崎国際大学教授	民俗
副委員長	山田 千香子	長崎県立大学教授	集落、社会生活
委員	宝亀 道聰	佐世保市文化財審査委員	歴史、古文書
委員	大島 通寛	佐世保市文化財審査委員	植物
地域参与	山内 一成	黒島地区史跡保存会	黒島代表

役 割	氏 名	役 職 等
指導助言	井上 典子	文化庁記念物課文化財調査官
	鈴木 地平	文化庁記念物課文部科学技官
	伊藤 修一	長崎県教育庁学芸文化課指導主事(～H21.3)
	中尾 篤志	主任文化財保護主事(H21.4～H22.3) 長崎県知事公室世界遺産担当主任主事(H22.4～)
	中野 英志	長崎県知事公室世界遺産担当主査(～H21.3)
	馬場 秀樹	世界遺産登録推進室係長(H21.4～)
	山口 美沙	主任主事(H21.4～)

また、報告書の執筆に当たっては上記調査委員会に新たに委員を加えて再編した「佐世保市文化的景観保存推進委員会」の協力を得た。

佐世保市文化的景観保存推進委員会

役 割	氏 名	役 職 等	分 野
委員長	立平 進	長崎国際大学教授	民俗
副委員長	山田 千香子	長崎県立大学教授	集落、社会生活
委員	宝亀 道聰	佐世保市文化財審査委員	歴史、古文書
委員	大島 通寛	佐世保市文化財審査委員	植物
委員	吉居 秀樹	長崎県立大学教授	行政法
委員	細田 亜津子	長崎国際大学教授	文化財、世界遺産
委員	原 哲弘	長崎国際大学准教授	景観論
委員	牧野 重美	黒島地区連合町内会会長	黒島代表
地域参与	山内 一成	黒島地区史跡保存会	黒島代表

さらに上記委員のほかに、中西弘樹(長崎大学教授)、長岡信治(長崎大学教授)、片岡千鶴子(純心女子大学学長)、下川達彌(活水女子大学教授)、大石一久(長崎県文化振興課)の各氏及び国土地理院、株式会社ゼンリン、神戸大学経済経営研究所の協力を得た。この場を借りて深く感謝したい。